

南ア月報
(2022年2月)

【内政】

- ラマポーザ大統領による国家施政方針演説 (SONA) の実施
- 国家的災害事態の延長
- Khehla Sitole 警察コミッショナーの任期満了の発表

【外政】

- AU サミット
- 第6回 EU・AU サミット
- 第58回ミュンヘン安全保障会議
- ラマポーザ大統領のコンゴ民主共和国訪問

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高

<出来事>

- 2022年財政演説
- COVID-19の検疫 (quarantine)、隔離 (isolation)、コンタクトトレーシングを変更
- 接種間隔の変更と異種ブースター接種の導入

【警備】

- 南ア治安情勢 (邦人に対する犯罪発生)

1 内政

●ラマポーザ大統領による国家施政方針演説（SONA）の実施

10日、ラマポーザ大統領は国家施政方針演説（SONA）を実施した。本年1月初めに発生した国会議事堂における火災により、憲政史上初めて議事堂外に会場を移して、SONAが実施された。

●国家的災害事態の延長

14日、南ア政府は国家的災害事態（the national state of disaster）の1ヵ月延長（2022年3月15日まで）を発表した。

●Khehla Sitole 警察コミッショナーの任期満了の発表

25日、南ア大統領府は、Khehla Sitole 警察コミッショナーの2022年3月31日での任期満了を発表した。

2 外政

●AU サミット

5～6日、ラマポーザ大統領はエチオピアで開催された第35回 AU 首脳会合にオンラインで出席した。同会合でラマポーザ大統領は、気候変動委員会議長の2年間の任期を終え、サル・セネガル大統領が新議長に就任した。

●第6回 EU・AU サミット

17～18日、ラマポーザ大統領及びパンドール国際関係・協力大臣はベルギーのブリュッセルにおいて第6回 EU・AU サミットに出席し、アフリカにおける新型コロナウイルス対策や気候変動対策等について EU 諸国と意見交換を行なった。

●第58回ミュンヘン安全保障会議

18～20日、パンドール国際関係・協力大臣はドイツにおいて第58回ミュンヘン安全保障会議に出席した。

●ラマポーザ大統領のコンゴ民主共和国訪問

24日、ラマポーザ大統領はコンゴ民主共和国を実務訪問し、同国及び地域における地域監視メカニズムに関する第10回平和・安全・協力フレームワークのハイレベル会合に出席した。同会合では、政治と安全分野の協力、さらなる経済発展及び越境プロジェクトによる地域統合に関する意見交換が行われた。同フレームワークには、アフリカ13カ国、国連、アフリカ連合、アフリカ大湖沼地域国際会議及び南部アフリカ開発共同体が参画し、年に1度の会合が開催されている。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価

2022年1月の年間消費者物価インフレーション率は5.7%で前月（5.9%）に比べ0.2%下降した。消費者物価指数（CPI）は前月から0.2%上昇した。（南ア統計局、2月16日）

●為替レート

2021年2月28日付（南ア準備銀行）

7.4792 ランド/円

15.4488 ランド/米ドル

17.2919 ランド/ユーロ

●製造業生産高

2021年12月の製造業は、前年同月比0.1%減。自動車及び輸送機器関連製品で8.0%減。主なマイナス要因は、石油、化学製品、紙、ゴム及びプラスチック製品で2.3%減。

また過去3ヶ月（2021年10月～12月）の季節調節後生産高は2021年7月～9月の3ヶ月から2.5%増。製造業10部門中の8つの部門で生産高増となった。（南ア統計局、2月10日）

●鉱業生産高

2021年12月の鉱業生産高は、前年同月比1.1%減。主なマイナス要因は、金で15.3%減、石炭で8.1%減、マンガン鉱石で10.8%減、鉄鉱石で7.4%減。

また過去3ヶ月（2021年10月～12月）の季節調節後生産高は2021年7月～9月の3ヶ月から3.5%減となった。（南ア統計局、2月10日）

<出来事>

●2022年財政演説

2月23日、ゴドングワーナ財務大臣は2022年度財政演説を行った。ポイントは以下のとおり。

- 1 2021年の中期財政政策演説で発表した同年の南アのGDP成長率を5.1%から4.8%に下方修正した。
- 2 2022年のGDP成長率を2.1%、今後3年間の平均成長率を1.8%と予測。
- 3 2021年度の税収を1兆5500億ランドと見込んでおり、これは1年前の財政演説時よりも1820億ランド高い。好調な税収は、主に鉱業部門の商品価格の高騰による。
- 4 2021年度、政府債務は4.3兆ランドに達し、中期的には5.4兆ランドに増加すると予測されており、多額の債務償還費用が発生する。
- 5 増加した税収を、財政赤字と債務費用の削減に充てる。
- 6 経済回復のリスクとなり得る増税を行うつもりはない。

●COVID-19の検疫（quarantine）、隔離（isolation）、コンタクトトレーシングを変更

2月23日、保健省はCOVID-19の検疫、隔離、コンタクトトレーシングに関して以下の点を変更した。

- 1 無症状のCOVID-19感染者は隔離を行う必要はないが、検査日から5日間、マスクの着用を行うことや、他者との社交を避けるよう推奨される。
- 2 軽症者は、発症日から7日間の隔離を行う。
- 3 重症者は、酸素療法が不要になった日から7日間、隔離を継続する必要がある。
- 4 隔離解除前の検査は不要。
- 5 積極的なコンタクトトレーシングは中止すべし。
- 6 感染者と継続的に接触している人の検疫は不要。

●接種間隔の変更と異種ブースター接種の導入

2月23日より、ファイザー社製ワクチンの1回目と2回目の接種間隔が42日間から21日間に短縮された。2回目の接種から90日（3か月）後にブースター接種を受けることができるようになった（180日から短縮）。また、同ワクチン又はジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）社製ワクチンによるブースター接種を受けることが可能となった。

2月21日より、18歳以上でJ&J社製ワクチンを1回接種した者は、2か月（60日）後に同ワクチン又はファイザー社製ワクチンのブースター接種を受けることができるようになった。

4 警備

●南ア治安情勢（邦人に対する犯罪発生）

1日夜、邦人が、ヨハネスブルグ・リボニア地区所在のリボニアビレッジショッピングセンターの飲食店前にてスマートフォン手にして配車した車を待っていたところ、背後からスマートフォンをひったくられる被害にあった。スマートフォンを見える形で携帯しないなどの安全対策が必要である。

また、Uberなどの配車アプリで手配した車が到着した際に、自分が予約した車であると主張する人物が現れ、アプリで予約内容を確認するよう仕向けスマートフォンをひったくる手口があることから、車の到着時に見知らぬ人物に話しかけられた時は、スマートフォンを取り出さないなど所持品の保管に注意が必要である。

万が一、スマートフォンを奪われそうになった場合は、絶対に抵抗せず、生命身体を守る行動が肝要である。